

東京探検団 5 回目 「23 区内の典型的元農村→ベッ ドタウン・練馬」

企画者：後藤ゼミ 3 年 長谷川圭亮

日時：2017 年 7 月 2 日（日）13 時～17 時 30 分

集合場所：西武池袋線大泉学園駅（池袋駅から西武池袋線準急もしくは普通に乗車。急行の場合は石神井公園駅で準急・普通に乗り換え。池袋駅から準急で 16 分）改札口付近（改札口は一つです。）

当日の参加者：3 年長谷川（企画者）、4 年本多、4 年井上、3 年佐藤、後藤先生

13 時：西武池袋線大泉学園駅改札口の外付近で集合

集合の前に、電車を降りたら大泉学園駅ホームで流れている音楽を聴きましょう。みなさん一度は必ず聞いたことのある某アニメ映画のテーマ曲が流れてきます。この曲を聴くと某有名漫画家の街だということが分かります。



↓徒歩にてすぐ

13 時～13 時 15 分：①北口を出てすぐの大泉アニメゲート見学

(練馬アニメーションサイト <http://animation-nerima.jp/nerima-and-animation/animegate/>) より

ジャパンアニメーション発祥の地・大泉の玄関口として、練馬区ゆかりのキャラクター達が等身大でお出迎えするほか、アニメ作品の年表や、大泉のまちづくりを写真で振り返るグラフィックウォールなど、「アニメ・イチバンのまち 練馬区」を体感できる空間です。

ここではなぜ大泉がアニメ発祥の地なのかを考えたいと思います。

↓徒歩すぐ

13時15分～13時45分②大泉ゆめーてる商店街

<http://oizumi.gr.jp/%e3%83%88%e3%83%83%e3%83%97%e3%83%9a%e3%83%bc%e3%82%b8/> (商店街 HP)

商店街が松本零士原作の銀河鉄道 999 とコラボレーションしており、約 170 店舗が商店街組合に加盟しています。ここでは、日大生もよく使う下高井戸商店街や東京探検団で行った品川区や仙川の商店街と比較して考えたいと思います。

↓徒歩 10 分

14時～14時45分③小泉牧場

<http://www.agriworld.or.jp/agriworld1/tikusan/bokuzyo/gaiyo.html> (小泉牧場を紹介した HP)

現在東京 23 区内唯一の牧場です。(23 区内にはここ小泉牧場しか牧場はありません。)昭和 10 年に小泉牧場が開かれ、現在約 40 頭の乳牛がいます。宅地化とともに練馬区内に 20 数件あった酪農家が減っていくにつれて、また宅地化により牧場があることでのにおい等の公害への対策から運営していくのに苦しい時期もあったとのことですが、現在は生産の場だけでなく、「食べ物生産の場」や「命がはぐくまれる場」として地域の小学校を対象とした教育の場としても使われているそうです。

ここでは、なぜ練馬区でここまで宅地化が進んでしまったのか、過去になぜ練馬で酪農が盛んにおこなわれるエリアだったのか等を小泉さんにインタビューをしながら (とても気さくな方だそうです) 考えていけたらと思います。

なお、小泉牧場で取れた生乳を使ったアイスクリームが、敷地内隣の売店で売っているとのことなので休憩がてら食べたいと思います。

↓徒歩 25 分

15時15分～15時45分④大泉学園 (閑静な住宅街めぐり)

もともと大泉学園駅の住所は練馬区東大泉であり、大泉学園ではないのです。住所上の大泉学園は駅から 30 分くらい歩いたところにあります。もともとは「東大泉」という駅名だったのが、「大泉学園」という駅名になった謎を探るにはここ「練馬区大泉学園町」に来ないと分からないのです。ヒントキーワードとして、箱根土地株式会社、学園都市、一橋大学誘致計画が挙げられます。現在では東大泉も含めて私立小中高校、大学の教育機関 (いわゆる学園と呼ばれる教育機関) はありません。閑静な住宅地が広がっており、この地区内の信号

名「風致地区」に代表されるように景観上の観点から建物や街並みにいろいろ制限がある区域となっています。

ここでは、先ほどのヒントキーワードをもとに検証していけたらと思います。

↓徒歩 60 分（踏ん張りどころです、頑張りましょう。もし皆が疲れていればバスを使おうかと思います）

↓

大泉学園町風致地区から光が丘駅までの道中はまだまだ田畑が広がっているエリアで、農産物直売所も多くあると言われています。この道中を歩きながら東京近郊の都市農業について考えていけたらと思います。

↓

16 時 45 分～17 時 30 分⑤光が丘パークタウン

都内屈指の団地群が光が丘にはあります。その名も「光が丘パークタウン」。東京ドーム 40 倍の場所に 12000 戸、36000 人が住んでいます。都営大江戸線の開通により都心へのアクセスが格段とよくなった光が丘には住宅だけでなく、商業施設、公園等も計画的に整備されており住みやすくなっている一方、少子高齢化の波も押し寄せており、全国のニュータウンに見られるような小学校の統廃合もここ光が丘では起きています。

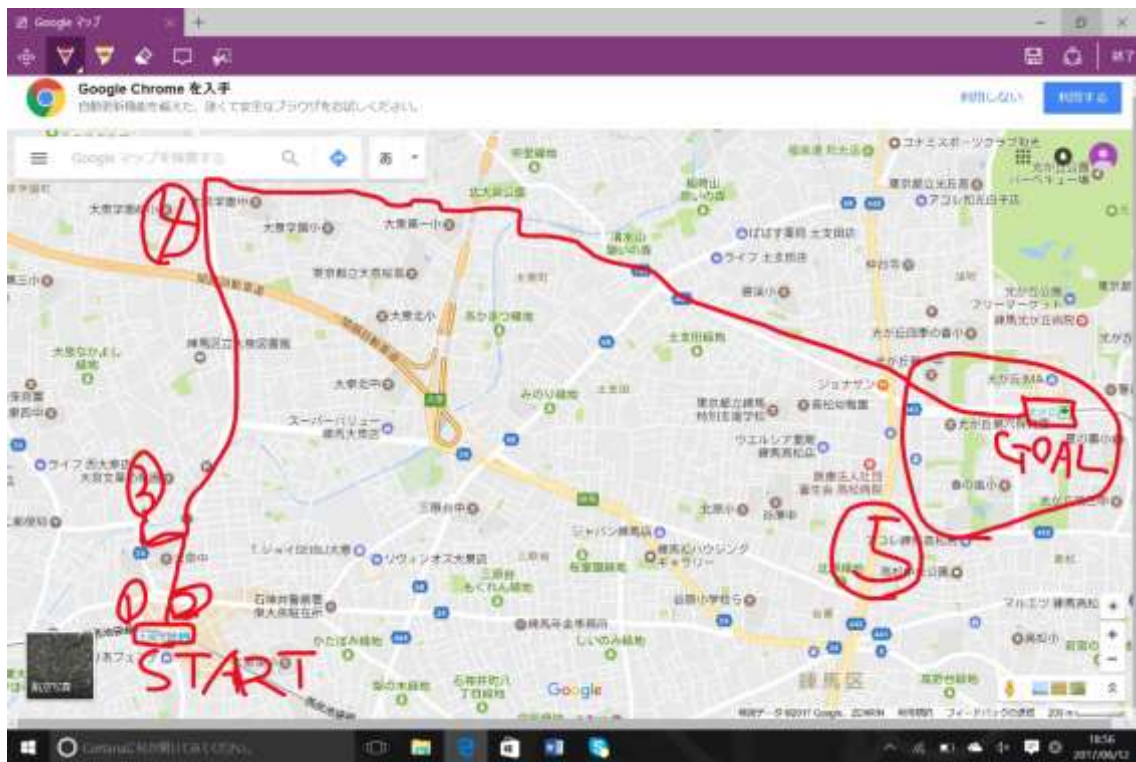
ですが、なぜ光が丘にこんなにも大きな住宅団地が形成されることになったのでしょうか。それはこの場所が戦中に陸軍の飛行場であったこと、戦後に米軍の住宅地「グランドハイツ」として使用されていたことに関係があります。

この光が丘パークタウンの街歩きを通してなぜ練馬に軍事関連施設があったのか、なぜ戦後 25 年も米軍が接収していたのか。このようなことを考えていきたいと思います。

↓徒歩すぐ

17 時 30 分頃：都営地下鉄大江戸線光が丘駅にて解散

次ページに行程マップを載せておきます。



以上